

2025年度
町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト
(通称：町プロ)
活動報告

～高齢者の在宅療養を支えるために～
医療・介護をはじめとした多職種が連携し、地域包括ケアシステムの構築を目指すことにより、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを推進します。

1 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会について

「町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会」を3回開催しました。

(1) 開催日（全3回）

- 第1回 2025年 5月22日（木）
- 第2回 2025年 10月23日（木）
- 第3回 2026年 2月26日（木）

(2) 主な協議事項

- 第1回 ○2025年度多職種連携研修会のテーマについて
- 第2回 ○第26回多職種連携研修会（市民向け）のテーマ及び開催日程について
○アドバンス・ケア・プランニング普及啓発部会における作成ツールの素案について
- 第3回 ○アドバンス・ケア・プランニング普及啓発部会におけるツールの作成について
○町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト実施方針（2026～2028年度）（案）について
○町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会設置要項の改正について

(3) 主な報告事項

- 第1回 ○2024年度町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクトの活動報告について
○2024年度医療と介護の連携支援センターの実績について
○第24回多職種連携研修会（専門職向け）の開催結果について
○アドバンス・ケア・プランニング普及啓発部会における検討状況について
○避難行動要支援者を対象とした個別避難計画について 他
- 第2回 ○町田市患者や利用者等からのハラスメント相談窓口事業の研修会実施について
○第25回多職種連携研修会（専門職向け）の開催結果について 他
- 第3回 ○第26回多職種連携研修会（市民向け）の開催について
○Dr. Linkの更新について
○町田市患者や利用者等からのハラスメント相談窓口事業研修会開催結果について 他

2 多職種連携研修会について

医療・介護等のサービス提供者がスムーズに連携するチームケアの実現を目的に医療・介護関係者を対象とした専門職向け研修会を1回、在宅療養に関する知識の普及を目的とした市民向け研修会を1回開催しました。

(※これまでの実績)

年度		テーマ
2013	第1回(2014年3月)	「医師会と介護事業所等の連携強化」
2014	第2回(2014年9月)	「歯科医師会、医師会と介護事業所等の連携強化」
	第3回(2015年3月)	「認知症初期集中支援チームの活用から医療機関・介護保険サービスにつなげるまでの連携のあり方」
2015	第4回(2015年8月)	「認知症ケアにおける多職種連携」
	第5回(2016年2月)	「救急車の適正利用について」
2016	第6回(2016年9月)	「みんなで知ろう 町田の医療と介護」
	第7回(2017年2月)	「介護現場における感染症対策」
2017	第8回(2017年9月)	「高齢者の運転について」
	第9回(2018年3月)	「住み慣れたわが家で自分らしく生きたい ～市民みんなで支える在宅療養～」
2018	第10回(2018年8月)	「消化器がんについて」
	第11回(2018年12月)	「在宅療養とおかねのはなし～脳卒中で倒れたら～」
2019	第12回(2019年8月)	「在宅の医療行為における多職種連携について ～喀痰吸引を中心に～」
	第13回(2019年12月)	「救急車が必要なのはどんな時？ ～救急車を上手に使いましょう～」
2020	第14回(2020年11月)	「しっかり服薬するために ～多職種連携でできること～」
	第15回(2021年3月)	「薬剤師に聞いてみよう！ ～くすりと上手につきあう方法～」
2021	第16回(2021年8月)	「目指せ！受診率60% ～町田市の成人健康診査及び各種検診～」
	第17回(2022年1月)	「使おう！わたしの受診券 ～町田市の成人健康診査及び各種検診について～」
2022	第18回(2022年8月)	「医療・介護現場のカスタマーハラスメント対策 ～自分の身を守り安心して継続支援を行うために～」
	第19回(2023年2月)	「測って学んで、延ばそう健康寿命！ ～町田市のフレイル予防について～」
2023	第20回(2023年8月)	「新型コロナ感染症の現場での振り返り ～その時何があったのか。多職種連携協働で何が出来たのか。これから何が必要なのか。～」
	第21回(2023年12月)	「ゼロから知ろうアドバンス・ケア・プランニング(人生会議) ～アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)説明できますか？～」
	第22回(2024年3月)	「今日を知って明日を語ろう！ ～フレイル測定と人生会議～」
2024	第23回(2024年10月)	「今日を知って明日を語ろう！ ～フレイル測定と人生会議～」
	第24回(2025年3月)	「職場で活かせ！人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)」

● 第25回多職種連携研修会(専門職向け)

- (1) 開催日時
2025年10月4日(土) 14:00~17:00
- (2) 開催場所
町田市役所3階
- (3) テーマ
「町田市の「かかりつけ医」とは
～主治医とかかりつけ医の違い分かりますか?～」
- (4) 研修内容
 - ・講義
『かかりつけ医について』
増子クリニック 医師 増子 達也 氏
 - ・事例検討
- (5) 参加者数
75名

● 第26回多職種連携研修会(市民向け)

- (1) 開催日時
2026年3月28日(土) 14:00~16:00
- (2) 開催場所
町田市役所3階
- (3) テーマ
「輝く人生のために～近くに相談できる「かかりつけ」がいますか～」
- (4) 研修内容
 - ・講話、クロストーク
増子クリニック 医師 増子 達也 氏
つちや歯科クリニック 歯科医師 土屋 孝治 氏
おれんじ薬局 薬剤師 井上 俊 氏
町田市リハビリテーション連絡会
 - ・家トレ
- (5) 参加者数
39名



3 アドバンス・ケア・プランニング普及啓発部会について

高齢者が意思決定をすることが困難になったときなどでも、本人の意思を反映した医療・ケア（介護）を実現できるよう、専門職の「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」の知識向上のための取り組みを検討・実施することを目的に、2024年度に部会を立ち上げました。

また、医療と介護の関係者が連携して、ACPに対する市民の理解を深めるための取組を行うことも目的としています。

(1) 立ち上げ時期

2023～2024年度に実施した多職種連携研修会において、その普及啓発の重要性を認識したことから、町プロ協議会の承認を経て2024年11月に「アドバンス・ケア・プランニング普及啓発部会」として立ち上げました。

(2) 検討状況

市民向けの「チェックシート」と「リーフレット」を作成し、2025年度第3回町プロ協議会において承認されました。2026年度に配布予定です。

今後は、専門職向けの手順書（マニュアル）の作成に向けて内容の検討を行い、2026年度中の完成を目指しています。

4 喀痰吸引研修について（参考）

「社会福祉士および介護福祉士法」の一部改正（注1）により介護を必要とする方に対し安全かつ適切に痰（たん）の吸引等を行うことができるホームヘルパーなどを養成することを目的に、町田市医師会と協力して実施しています。町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクトでは、研修対象事業者への周知を行いました。

（注1）痰の吸引等について

医師や看護師に限定されていた、痰の吸引等について一定の研修を受けた介護職員等においては、医療や看護との連携による安全確保が図られている等、一定の条件の下で痰の吸引等の行為を実施できるようになりました。（H24.4「社会福祉士および介護福祉士法」一部改正により）

(1) 開催日

2025年11月15日（土）、16日（日）

(2) 研修場所

町田市医師会館

(3) 研修概要

特定の喀痰吸引等の医療行為が実施可能となる第3号研修

(4) 参加者数

10名

参加者数累計 367名

（うち、実地研修実施人数累計 215名）

5 町田市患者や利用者等からのハラスメント相談窓口事業について（参考）

在宅療養に携わる医療や介護の専門職がカスタマーハラスメントをはじめとした患者・利用者やその家族とのトラブルに対する適切な対応方法を習得することを支援し、安心して業務を行うことができる環境を整えることを目的とし、2023年4月～2026年3月まで実施していた事業です。

電話やメールでの相談窓口の設置、トラブルに対する同席対応、医療職や介護職の対応能力向上のための研修を行いました。

町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクトでは、相談窓口の利用促進や、ハラスメント対応に関する研修の周知を行いました。

● 相談窓口

(1) 相談件数

25件（2025年4月1日～2026年3月31日）

(2) 相談種別内訳

精神的17件、セクハラ1件、その他7件

● 同席対応

(1) 同席件数

0件

● 専門職への研修

開催日時

① 2026年1月17日（土）14:00～17:00

② 2026年2月9日（月）～2026年3月10日（火）

(1) 開催場所

①町田市役所3階

②アーカイブ配信

(2) テーマ

「医療・介護現場でのカスタマーハラスメント研修～現場で活かそう！ハラスメント対策～」

(3) 内容

・講演

『医療・介護現場における法的観点からみるカスハラの実態と対策』

アルファパートナーズ法律事務所 弁護士 周 将煥 氏

・演習

『医療・介護現場における事例に基づくカスハラ対応について』

※実践的な対応方法を身に着けるためのロールプレイング

株式会社ウィ・キャン 代表取締役 濱川 博昭 氏






・個別相談会

(4) 参加者数

①12名

②72名

6 その他

名称	概要	作成・運用開始
救急医療情報キット 	<p>高齢者の安全・安心を確保することを目的に、「かかりつけ医」「緊急連絡先」などの情報を専用の容器に入れ、自宅に保管しておくことで、万が一の救急時に備えるツールです。</p> <p>2014年度からキットの配布を行っていましたが、より多くの方にご活用いただくため、2024年10月から作り方や作成に必要な用紙の配布を開始し、キットを自作できるようになりました。</p>	2014年度～運用 2024年10月～改定版配布開始
Dr. Link 	<p>医師がケアマネジャーからの連絡や相談をスムーズに受け取ることができるように、あらかじめ医師が対応可能な曜日、時間帯、相談方法などをリスト化してケアマネジャーが医師と連絡や相談がしやすい環境をつくるケアマネタイムの町田市版です。ケアマネジャーや高齢者支援センターが活用しています。</p>	2015年3月～モデル運用 2017年4月～運用 2025年12月情報更新
ケアマネサマリー 	<p>ケアマネジャー等が医療機関に利用者に関する情報を提供するため、受診または入院の際に、介護保険サービスの利用者や家族の状況から治療及び退院時に積極的な支援が必要であると判断した場合に使用しています。</p> <p>2018年度の介護保険法改正、医療介護報酬改定に合わせて様式の見直しを行い、現在のシートで運用しています。</p>	2016年11月～運用 2018年度改訂 (2019年3月～運用)
退院調整シート 	<p>退院支援において、ケアマネジャーの経験や知識に関わらず、医療機関から必要な情報を漏れなく、効率よく確認できるように、在宅療養のために必要な情報の項目をまとめたシートです。ケアマネジャーが病院スタッフからヒアリングする際に使用しています。</p> <p>2020年1月～2月にシートの利用状況や課題、改善点を把握するために実施したアンケート結果を踏まえて、2020年度に改定を行い、現在のシートで運用しています。</p>	2018年度作成 2019年7月～試験運用 2020年度改訂
シンボルマーク 	<p>町プロ推進協議会に参画する事業者の連携を強化するとともに、町プロの取組をより多くの方々に知っていただくため、公募を経て決定したシンボルマークです。現在は、町プロのステッカーやお薬手帳カバー等に印刷し、広報に活用しています。</p>	2018年4月～検討 2018年12月～運用

【資料1】

<p>地域資源マップ</p> 	<p>「地域の医療・介護サービス資源情報の共有化」を推進し、医療機関や介護事業所等が連携するための地域資源情報を手軽に取得できる環境を作るため、インターネット上で閲覧出来る医療・介護資源マップを公開しています。</p>	<p>2019年6月～検討 2020年4月～運用</p>
<p>町プロ ポータルサイト</p> 	<p>医療と介護の関係者が、町プロの活動について理解を深めるとともに、在宅医療・介護連携に必要な情報を共有するため、ポータルサイトを立ち上げ、町プロの活動や地域資源マップ等の様々な情報を掲載しています</p>	<p>2020年4月～</p>
<p>新型コロナウイルス 感染症への対応</p>	<p>医療・介護の専門職に感染症対策等の必要な情報を迅速にお伝えするため、町プロ多職種連携研修会の緊急企画として、新型コロナウイルス感染症への対応に関する動画を作成し、町プロポータルサイトで7つの動画を公開しています。</p>	<p>2020年6月～順次公開</p>
<p>町プロオリジナルお 薬手帳カバー</p> 	<p>在宅高齢者の生活を支える上で、ご本人と医療機関、薬局、ケアマネジャー、ホームヘルパー、訪問リハビリテーション等の専門職が日常の気づいたことなどをお薬手帳に記載し、情報共有を行うことができます。 またカバーには高齢者あんしんキーホルダーの情報や、ケアマネジャーなどの名刺を入れるポケットが付いており、在宅高齢者の緊急連絡先等の確認にも役立てています。</p>	<p>2021年11月～配布</p>